

メンタルヘルスの集い (第36回日本精神保健会議)

# 新型コロナウイルスと女性・家族・社会

～生きやすい街づくりのためにできること～

令和4年3月5日(土) 13:00～16:30

**オンラインで無料開催!**

## 参加申し込み方法

専用ホームページ <https://mentalhealth36.com>



- 上記URLまたはQRコードにアクセスして申し込みボタンをクリック  
申し込みフォームにお名前、当日連絡のつく電話番号、メールアドレスなど必要  
事項を記入して送信して下さい。

折り返し受け付け確認のメールが返信されます。

○申し込み期間 令和3年12月21日～令和4年2月28日

○参加人数 400人 (先着順)

○お問い合わせは 公益財団法人日本精神衛生会 事務局

電話 03(3518)9524

メール z-seisin@dc4.so-net.ne.jp

3月5日(土) オンラインで無料開催!

メンタルヘルスの集い (第36回日本精神保健会議)

## 新型コロナウイルスと女性・家族・社会

～生きやすい街づくりのためにできること～

2019年に武漢から始まった新型コロナウイルス感染症は、短期間のうちに世界的なパンデミックに発展しました。今回のメンタルヘルスの集いでは、コロナ禍での女性、家族、社会に焦点を当て、外出・集会の制限や社会活動の停滞、二次的な風評などによる家族の密着と分断、社会関係の断絶、失業や貧困の増加が、人々のメンタルヘルスにどのような影響をもたらしたか、そしてコロナ禍の不安が残る中でもメンタルヘルスを保つための、方略や施策について議論します。コロナ禍では多くの方が亡くなり、また死の恐怖と闘い生還されました。改めて「生きるということ」について考え、たいへんな環境ではありますが、生きやすい街づくりのために何ができるかを、参加者とともを考えたいと思います。

**日 時** 令和4年3月5日(土) 13:00~16:30

**プログラム** 特別講演 「いのちをみつめて」

柏木 哲夫 (ホスピス財団理事長)

淀川キリスト教病院名誉ホスピス長 大阪大学名誉教授)

**シンポジウム** 張 賢徳 (日本うつ病センター・六番町メンタルクリニック院長)

大谷 恭子 (弁護士・アリエ法律事務所)

稲葉 剛 (一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事)

富岡 史穂 (コミュニティ マネージャー・元朝日新聞記者)

**コメンテーター** 高塚 雄介 (公益財団法人日本精神衛生会理事)

**コーディネーター** 西 大輔 (東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野准教授)

上別府圭子 (一般社団法人子どもと家族のQOL研究センター代表理事)

●参加費無料 申し込み方法は裏面

**主 催** 公益財団法人日本精神衛生会

**後 援** 日本精神神経学会 日本精神保健福祉連盟 全国精神保健福祉会連合会

日本精神科看護協会 日本精神保健福祉士協会 日本臨床心理士会

日本作業療法士協会 きょうされん 日本精神衛生学会

女性ネットSaya-Saya 子どもと家族のQOL研究センター



オートレース補助事業

<https://autorace.jp>  
<https://www.jka-cycle.jp>